

The gazette of International University of Health and Welfare



学生のための談話室

待望の大学院棟完成

特集

特別企画 初山先生に伺う

WFOT三役・代表者来学

第5回運動会



発行：学校法人国際医療福祉大学 平成12年6月10日
編集：広報委員会 TEL 0287-24-3000 内線8116
ホームページアドレス <http://www.iuhw.ac.jp>

初山先生に聞く

前号の高木理事長、大谷学長のインタビュー記事が好評でしたので続けて、本学の人材をよりよく知っていただきたくご登場を願うことにしました。本号は初山先生です。
(聞き手 宮尾洋子)

平成十二年五月十六日収録

……本日はお忙しい中、お時間を頂戴しまして有り難うございます。初山泰弘先生は昨年開学しました大学院の初代院長であり、本年四月に大学構内にオープンした国際医療福祉リハビリテーションセンターのセンター長の重責も担っていらっしゃいます。前職は国立リハビリテーションセンターの総長を勤められたと伺っておりますが、整形外科のご専門のドクターがどうしてリハビリに関わるようになったのか、その経緯を含めて簡単に履歴をお話し願いたいのですが。



初山泰弘先生

初山 私は昭和三十三年にインターンを終えて、整形外科医の道を歩み始めました。その後十五、六年の間は毎週三回は手術をするなど充実した臨床医としての日々を送っておりました。私が医師になった当時は、まだリハビリテーション医学体制はなく、昭和三十八年にリハビリテーション医学学会が設立され、昭和四十年に理学療法士・作業療法士の資格制度が始まりました。東京オリンピックが開催された昭和三十一年頃に、わが国のリハビリテーション専門職員制度がスタートしたことになりました。その後、昭和四十七年頃から身体障害者の施設でリハビリテーション関連の仕事をするようになり、当時とは労災事故や交通事故で四肢を切断したり、ポリオなど手足に麻痺を残す人々を、整形外科医が治療する機会が多かった為でもあります。昭和

五十四年に在京の国立の肢体不自由、視力障害、聴覚言語障害の三施設が統合され、国立身体障害者リハビリテーションセンターが発足し約二十年間そこで仕事をしました。

……それから、この大学に大学院が昨年開学して初代の院長になられたわけでございますね。教育に携われるのは初めてでいらっしゃる印象をお持ちの学生たちにとどのような印象をお持ちでいらつしやいますか？

初山 非常勤講師の形で教えた経験はありますが、このような関わり方をするのは始めてです。この大学に呼んでいただき、教育者の資格があるかどうか判らないまま、昨年幾つかの授業を持ちましたが、ピカピカ輝いている、はちきれそうな若い人々に教えることができ、本当に良い機会を与えて頂いたと思っております。自分自身も若返った気がします。

……それは嬉しいことです。今年度で二年目、大学院博士課程前期が終る所ですが、先生はこの大学院をどのような方向に育てていきたいと考えておいででしょうか？

初山 今、世界的に大学院大学構想が進んでおりますが、二つの方向を目指しております。一つは高度の専門を身につけた専門職を養成しようとしている部分と、もう一つは従来のような研究重視の大学院です。私がここに来ているのは、リハビリテーション関連職種の作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、それに放射線技師、看護婦、看護士さんたちと色々な職種を目指している方たちと同じキャンパスで勉強しているわけですから、その方たちが連携してネットワークを作り、五年、十年経ちますと日本の至る所に横の連絡が出来て、障害を持つ方々にアプローチ出来るような専門職種を育てる、それがこの大学院の特色になると考えております。

……では次に、この四月に開所しました国際医療福祉リハビリテーションセンターについてお伺いします。先生はこちらの所へ兼ねられるという重

責をになつておられますが、このセンターに関して、どのように発展させていきたいのか先生のお考え、夢を語っていただきたいのですが。

初山 このセンターは、重症心身障害児（者）施設、療護施設、それにデイケアセンターが一緒になった、医療と福祉の複合施設です。それぞれが、専門の先生のもとで、治療、訓練を受けるわけですが、保健医療施設の枠の中で、従来のように、療護施設は福祉であり、重心は医療だけやればよいという考え方ではなくて、幸いこの大学には専門の先生やその卵が大勢いるのですから、どのようなサービスが出来るのか、幅広いメニューを提供して、その中から、障害を持った方、その家族の方々が豊富なメニューから選ぶことが出来るというシステムが出来れば、大変特色のある施設になると考えております。それから、一度入所したら、ずっとそこに居続けるのではなく、調子がよくなればご家庭に帰られる、いわゆる循環式のライフスタイルを取り入れ、障害をお持ちの方々の経験を豊かにしていただき、又それによって地域、ご家庭に密着した施設になるのではないかと考えております。



……先生のお考えがどのように実現していくのか、期待を持って、拝見したいと思えます。先生は昨夜カイロから帰国されたとか、まだお疲れの残っている間にインタビューをお願いして申し訳なかったのですが、どんなご用件でカイロにいらしたのですか？

初山 IPC "International Paralympic Committee" 国際パラリンピック委員会という国際委員会があります。これは障害者スポーツの国際版で、国際オリンピック委員会（IOC）に対する意味で「パラオリンピック」「パラリンピック」と呼ばれております。五月の十二、十三日とカイロで執行委員会が開かれ出席してきました。

……その執行委員会というのはどのような構成になっているのでしょうか？

初山 会長、副会長、事務局長、財務、技術、医学委員長等が中心で、その他、IPCの六地域の代表、国際障害者スポーツ連盟等の代表等が加わり構成されております。私は東アジア地域の代表という形で執行委員となつております。

……そこでどんなことが討議されたのですか？

初山 IPCの将来目標として、オリンピックの正式競技種目に障害者スポーツ種目を取り入れてもらう。まさにスポーツ界のインテグレーション、ノーマライゼーションの実現があります。……そうなりますと、もうパラリンピックは無くなって、一つの「共に生きるオリリンピック」ということになりそうです。

初山 あるいは、IPCはIOCの一部門となるかもしれません。昨年パラリンピック委員会発足十周年記念で事務局もボン市に移転しましたが、IOCも最近IPCに関心を持っていただくようになり、IPCの行事にIOC会長のサマランチさんも出席され祝辞を述べられました。開発途上国の支援と言う名目で、IOCから経済的にも支援を受けています。IPCも設立十年を迎えIOCとの関係をも含めて、将

WFOT三役・代表者来学

WFOT各国代表者とOT学科学生との交流会

5月14日から19日まで札幌にて、第24回世界作業療法士連盟代表者会議が開催されました。その後WFOT会議に参加した各国代表は、25日から27日まで横浜で開催された第34回日本作業療法学会へ出席されました。札幌から横浜へ移動の途中、WFOT会長ウェブスタ氏ら6名の役員が我が校に立ち寄られ、OT学科生との交流会が催されました。学生による積極的な企画立案・運営と語学教育センターの先生方の多大なるご協力により、学生126名、教員、臨床実習指導者の参加を得て盛大な交流会となりました。

歓迎のセレモニーでは、茶道部による抹茶のおもてなしからはじまり、チアリーダーによる演技が披露されました。6名の役員の出身は、オーストラリア、米国、南アフリカ、カナダ、イギリスであり、各国の教育システムとOTの職域の広がりについてスピーチをしていただきました。その後、6テーブルに各国の役員が1人1人別れて、学生や教員らと交流を持ちました。グループ毎に活発な質問が続き、各役員の方々も熱心に答えていただきました。学生にとっては、各国のOT事情を知ることができるまたとない貴重な体験ができました。

(久保田清子)



参加学生の声

今回のWFOTの方々との交流会に参加したことは、私にとってとてもいい刺激になりました。日本での作業療法は、従来の病院での治療という非日常のものから、対象者の生活の現場へ入り込んでいくものへと変化しようとしている段階です。

各国では、作業療法士は病院から出て、地域生活の現場へと活躍の場を広げているそうです。しかしそれは、生活していく中で作業療法の必要性が認められるように頑張ってきた結果だという話を聞きました。私は、「外国では進んでいる」という考えで終わるのではなく、日本でも作業療法士の活躍の場が広がっていくように頑張りたいと思いました。皆さんもこの会に参加して、いろいろな考えを持ったのではないのでしょうか。

最後に、このような機会を与えて下さった教員の方々と、会の運営にあたっていろいろと学生に配慮して下さいました福田先生にこの場を借りてお礼を申し上げます。

(作業4年 菅原洋平)



▲ 茶道部によるおもてなし



▲ グループ別の歓談

来進むべき方向を検討するコングレスを来年開催する予定で検討しています。なおその候補地としてカンボジアが有力です。また今秋シドニーで開催されるパラリンピック夏季大会の準備状況なども報告されました。そのような会議に障害者の代表の方々も参加なさるのでしようか？

初山 選手会代表の方がひとり、それから国際障害者スポーツ連盟というのがあります。そこに、脳性麻痺のグループ、車椅子のグループ、視覚障害のグループとか、六つ国際障害者スポーツ競技のグループがありましてそれぞれ代表者も出席します。

……今年シドニーでオリンピックに続いて、パラリンピックということですが、期日はいつでしょうか？それに日本から何人位参加するのでしょうか？

初山 開会式が十月十八日、閉会式が二十九日です。日本からは選手・役員百五十名ほどが参加します。コーチやボランティアの方々もお願いしてあります。それに現地で支えてくださる方たちもおられますし、全部で一万人位のボランティアが働いてくださいます。

……競技種目はどんなものがあるのでしょうか？

初山 シドニーでは正式には十二種類、陸上、水泳、卓球、車椅子サッカー、車椅子バスケット、それに馬術もあります。それから、正式な種目ではないのですが、冬の大会では車椅子ダンスもぜひという運動があります。またこの大会を通じて重度の障害者とか女性のためのスポーツを開発しようという試みもあります。

……日本代表選手のご活躍とご無事をお祈りします。この大学の卒業生たちからも、いずれパラリンピックに関係して、国際的にも活躍する人が出てくるかもしれませんね。楽しみにしています。また夢がひとつ増えました。初山先生、空の旅のすぐ後でお疲れのところ、お話を聞かせていただきました。本当にありがとうございます。

第5回 運動会



▲もしケガなどしたら日頃の
学業を活かし・・・



▲本当は色白で、ダンスも上手なのヨ



▲ヒョウとペンギンの仲良しこよし



▲すてきなツーショット



▲お母さん、お姉ちゃんたち
おもしろいよ



▲今年は“これ”が流行りました



▲騎馬戦は、実は頭脳プレー!?



▲大玉はバランスが大事!

白熱した運動会 無事終了

平成12年5月27日(土)大田原市は天候もよく、運動会日和でした。現在、学生総勢約3000名ですが、運動会に参加した学生は1,2年生が中心ですが、運動会では白熱した場面も見られました。昼に各学科の応援合戦を行いました。途中で他学科の学生が応援(ダンスなどに参加)し、本学のチームワークのよさが目立ちました。地域および施設利用者の方々も参加し、楽しい運動会が無事終了いたしました。ただ、午後になってから風が強く、砂埃には大変参りました。最後に実行委員の皆様、大変お疲れ様でした。

(丸山仁司)

5月27日、前日までの不安定な天候がうそのように晴れ渡り、真夏の日差しを想わせるような中、第5回国際医療福祉大学運動会が開催されました。

地域住民の皆様を含め、多くの方々が参加して行われた運動会は、例年にも増して盛り上がり、各学科対抗の応援合戦ではそれぞれが趣向を凝らし、思い思いのコスチュームに身を包み、熱のこもった闘いが繰り広げられ、楽しく体を動かせるよう思考を凝らした競技に心地よい汗を流されたことでしょう。

大会の運営を学生中心で行うということで、実行委員となった学生たちは準備から含め、大変な苦労があったことでしょう。

All for One, One for All

ひとつのことを成し遂げるためには、たくさんの方々の協力無しでは難しいということを感じ取ってくれたのではないのでしょうか。来年はどんな大会になるのか、今から楽しみです。

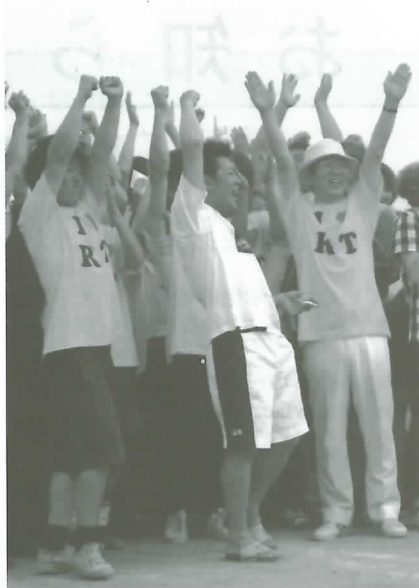
(小池貴久)



▲今年も走りませんが、若者よがんばって！



▲ヤッホー！



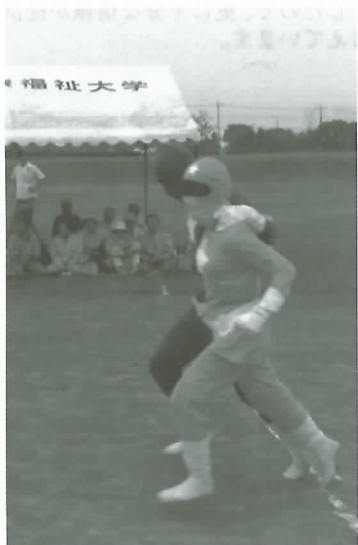
▲ヤッター！我ら放射かく戦えり



▲このジャケットは1期生からいただきました・・・



▲わさび入りには当たりませんように！？



▲ナゾの2人組。デビューも近い？



▲バランス感覚は私達が一番!!



▲「やはりリレーは力が入るねえ。」「うん。」

実行委員長奮闘記

運動会の開催日が近づくにつれ、多くのことを決めていかななくてはならないという重圧から不安になってきました。一週間前にもなると実験のレポートそっちのけで運動会をいかに成功させるかということだけを考えるようになり、悪戦苦闘の毎日でした。

当日は朝5:00に学校に来て天候の確認をし、大会開催の花火を打ち上げました。真夏を想わせる晴天に恵まれ、競技は順調に行われていきました。地域の方々も参加されたパン食い競争、チアリーディング部による華麗な演技、熱のこもった学科対抗の応援合戦、各学科の交流を図った借り人レース、無我夢中に帽子を取り合った騎馬戦、優勝の行方を決めたファイナルレース。白熱した闘いを制したのは放射線・情報科学科で、2連覇を狙った理学療法学科は惜しくも準優勝で幕を閉じました。

運動会実行委員長として私は、仲間の大切さ、思いやりを改めて感じ、一人で成功させることはできないが、みんなが力を合わせれば実現可能であることを実感いたしました。

最後に協力してくださった皆さん、本当にありがとうございました。
(放射2年 渡部光昭)



お知らせ

同窓会「マロニエ会」

1周年記念パーティーについて

同窓会「マロニエ会」では、平成12年7月1日(日)に乃木温泉ホテルにて、同窓会第2回総会および設立1周年記念パーティーを開催いたします。

準会員の皆様、また、同窓会に入会していない在学生の皆様も、看護、医療の現場で働く卒業生と交流できる機会ですので、是非ご参加ください。

時間、会費等の詳細は、同窓会「マロニエ会」ホームページに掲載しております。<http://www.maronie.iuhw.ac.jp/>をご覧ください。

その他、入会費、会の今後の活動などで質問・意見のある方は、大学事務局内同窓会事務局までご連絡下さい。

(同窓会長 吐師秀典)

同窓会事務局

〒324-8501 栃木県大田原市北金丸 2600-1

TEL: 0287-24-3003 FAX: 0287-24-3100 (国際医療福祉大学)

e-mail: office@maronie.iuhw.ac.jp

日本言語聴覚士協会誕生

平成12年1月16日(日)はまぎんホールヴィアマーレ(横浜市)にて、日本言語聴覚士協会設立総会ならびに第一回総会が開催されました。その場で、本大学の藤田郁代先生が初代会長として承認されました。



▲挨拶される藤田郁代会長

第35回日本理学療法士学会

5月19、20日、鹿児島市民文化ホールで第35回日本理学療法士学会が行われた。テーマは「理学療法の効果判定」で、国際医療福祉大学からは11題(うち2題は大学院生による)、国際医療福祉病院からは2題の演題発表が行われた。また、テーマに沿ったシンポジウム、特別講演が行われ、EBM(Evidence Based Medicine)の流れとともに理学療法にもさらなる科学的根拠の必要性が指摘された。(谷 浩明)



入試事務局

国際医療福祉大学オープンキャンパスのお知らせ

国際医療福祉大学オープンキャンパス……大学説明会&体験入学が今年も下記日程にて開催されます。本学への入学を希望されている受験生やご父兄に是非ご参加下さるようおすすめください。当日は総合ガイダンス(全体説明)、体験入学、個別入試相談が行われます。

日程: 第1回 7月29日(土)

第2回 8月2日(水)

第3回 8月26日(土)

時間: 10:00 ~ 16:00 (毎回共通)

申し込み不要・入退場自由

交通: 那須塩原駅東口より無料送迎バスを運行します。

学生課

学生課・就職資料室の移転について

この原稿が活字になる頃には移転を完了している頃だろうと思いますが、学生課・就職資料室は大学院棟(L棟)1階に移転します。「学生呼び出し」などの掲示は引き続きF棟前に残りますが、事務はL棟において行います。業務としては奨学金や学割など従来の学生課業務の大半をそのまま引き続き行う予定ですが、掲示に十分ご注意ください。また就職資料室は「就職情報コーナー」と名を変え、面積を拡大しパソコンによる企業や医療機関・福祉施設の求人情報検索を行えるように準備をしています。すぐにすべての求人情報を検索できるかどうか現時点では不明ですが、少なくともインターネットを通じて各企業や病院のホームページにアクセスすることは可能です。また就職情報用の掲示板を拡大しましたので、更に十分な情報が提供できるようになるのではと考えています。

編集部へのお便り紹介

IUHWを日頃ご愛読下さり、有り難うございます。私ども広報委員会では、読者の皆様のご意見・ご鞭撻が日頃の励みにもなります。IUHWを配布する他に、国際医療福祉大学ホームページ上でも公開いたしておりますが、皆様のお一人から、31号の感想として、E-mailが届きましたので、ご紹介いたします。

IUHW31号機関紙の一読後の感想

拝啓: 編集部各位の御尽力にて敬意。毎回一読することにより、内容の充実が顕著となっております。楽しみです。保護者の一人として、不躰でありましようが一言。卒業生の声及び卒業後先輩の意見、在学生の意見の本誌掲載を一読、現在の青年が感じている意見として、貴重な一面を拝読させて頂いています。さらに進めて、既に社会に卒業された第1線で福祉業務にたずさわっている卒業後の方々を一日講師(ボランティア)として招聘し、生の現状と体験談を若者の視点から、意見交換方式にてカリキュラムに加えられたらとの思い。また、地域に密着した大学の在り方としても、長期トレンド戦略として、福祉介護の現状把握の基礎データベース化と分析を学生のテーマとし、トライアルとして手始めに近隣の町の福祉マップ作り(年齢・男女・同居者・身体度数(介護の度合い)・更には、福祉はトータルでの充実が必要との観点からも、ショッピング・歯科・理容等の生活環境まで及んだ基礎データの構築を国際医療福祉大学が開かれた大学(人材育成と社会への貢献)として手掛けられればとの思い。以上「とりとめの無い」意見として一言。

……放射線・情報科学科2年生石森貴夫の保護者より

石森様にはご了解を得た上、このように誌上に、紹介させていただきましたが、ぜひ今後もIUHWに対するご意見やアドバイスを、あるいは学生・教員、後援会・実習施設の皆様に関する楽しい情報などがありましたら、広報委員会までお知らせください。

部会・委員会報告

就職委員会

公務員講座 184名受講

4月～5月の連休にかけて開催された公務員試験受験対策講座を3～4年生、184名が受講し熱心に学習が行われました。5月は、各都道府県公務員採用試験が本番です。一方、民間企業の大手は既にほとんどのところが内定をだして、就職戦線は一段落の気配です。わが大学の場合はこれからが本番で、4年生の多くが実習にでいていたりします。新しく就職活動にのぞんでいる医療経営管理学科と医療福祉学科は、病院や施設、団体訪問など、これからさらに本格化します。

なお5月下旬には新しくオープンした大学院棟に就職情報室が移動し機能を強化します。(鈴木五郎)

学生委員会

課外活動の活性化、まずは運動会がんばろう！

大学時代の課外活動は学習と同様、重要な位置付けと考えられる。課外活動は人間性の形成にも大きく影響を与えることから重要視している。大学全体の課外行事には、前期には運動会、後期には大学祭がある。多くの学生が積極的に参加されることを期待する。また、クラブおよびサークル活動、ボランティア活動などは多くの友人をつくり、人間を成長させる役割もある。ぜひ、多くの学生がクラブまたはサークルに参加し、楽しい、有意義な大学生活を送れることを期待する。(丸山仁司)

情報化委員会報告

かねてより懸案でありました、学生が大学内でのメールを利用するためのメールアドレスの設定が終了し、利用が可能となりました。

学生のメールアドレスは、「学生番号@edu.iuhw.ac.jp」です。メールはSL教室で利用できますが、利用の詳細は、現在「使用手引き書」を作成中ですので、しばらくは情報システム室の室員に尋ねてください。インターネットは既にSL教室の50台のデスクトップパソコンで利用出来ますので、大いに利用して下さい。文献検索やホームページ検索に大変有効です。

(樺澤一之)

広報委員会

平成12年度委員会構成

藤原聡子・豊島三枝子(看護)、西条富美代・石井恵美(理学)、菅原洋子・久保田清子(作業)、西尾正輝・吉川千絵(言語)、清水慶昭・小池貴久(放射)、島津望・磯伸彦(経営)、○田澤薫・本多勇(福祉)、菊地義信(情報)、○宮尾洋子・宮崎路子(語学)、石田宏・山崎清彦・桑原崇(メディア室)
◎委員長、○副委員長

本年度IUHWの発行日及び編集担当者

32号 6月10日、藤原、小池、宮崎
33号 7月15日、田澤、磯
34号 10月20日、豊島、菊地
35号 12月1日、石井、久保田、本多
36号 1月20日、菅原、西尾、島津
37号 4月25日、西条、吉川、清水(宮尾洋子)

看護学科公開学習会のご案内

看護学科主催による公開学習、テーマ：「現代に生きる子供」を開催します。どなたでも参加できますのでどうぞいらして下さい。時間は18:00～19:30となります。

- 第1回：7月13日(木)「子供の成長・発達」
講師 下泉秀夫(国際医療福祉大学リハビリテーションセンター)
第2回：7月17日(月)「障害児とともに生きる」
講師 下泉秀夫(国際医療福祉大学リハビリテーションセンター)
第3回：7月27日(木)「思春期における性の諸問題」
講師 茅島江子(国際医療福祉大学)

場所：国際医療福祉大学 F棟101教室
受講料：各回1000円
お問い合わせ：看護学科 近藤誓子
TEL 0287-24-3086 FAX 0287-24-3191

教務委員会

国際的視野を培うために

「国際医療福祉大学」の「国際」は、国際的な視野を育てることを目指しています。さて具体的には、語学教育の充実、国際関係科目の充実、留学生の受入れ、海外保健福祉事情の科目設置(海外研修)等が既に実現されています。加えて、海外教育施設との単位互換制度の導入、短期留学生の受入れなどを積極的に検討を始めています。ところで、国際的視野を育てる上で、自分の国のことを知ること、自分の考えをしっかりと表現することも大切なことを忘れないように。(杉原素子)

紀要委員会

平成12年度第1回紀要委員会を4月21日(火)に開催いたしました。新年度に入りましたので、本格的に紀要第5巻の編集作業に取り組むこととし、論文審査の依頼を開始することにいたしました。ただし、この段階では昨年末に行った論文投稿希望調査に応募いただいた全員からの原稿が揃っておらず、受付済みの原稿に対してのみ行いました。未着の先生にはご多忙とは存じますが早急なる脱稿のご協力をお願いいたします。また、過去の論文の中には投稿規定に沿っていないものもありました著者におかれましては投稿規定を熟読、確認の上ご投稿をお願いいたします。(野原功全)

ボランティア委員会

共同ボランティア・オリエンテーション

5月11日(木)18時から、学内で各ボランティアサークルや個人などによる共同のオリエンテーションをD110教室で開催しました。これは、ボランティア委員会の呼び掛けにより各ボランティアサークルなどと共同で開催したもので、2回の準備打ち合わせを経て、学生の司会により運営されました。当日は、青い鳥、あじさい、メビュース、レッドポッポ、栃木YMCA、個人・小原などから活動の現状が報告され、これからボランティアに参加しようとする学生に対する説明と同時に、学内各サークル間の情報交換としてのよい機会になりました。(鈴木五郎)

国際交流委員会・国際部報告

- 1)平成12年度委員：池松裕子(看護)、斎藤昭彦(理学)、福田恵美子(作業)、城間将江(言語)、金場敏憲(放射)、高橋淑郎(経営)、長谷川豊・相原和子(福祉)、黒澤美枝子(医学)、○田中美子・南井紀子(語学)、○細井良三(情報)、大野節夫(学生課)、西留秀二(総務課)、五十嵐美知(国際部)、矢谷令子(作業・国際部)〔◎委員長、○副委員長〕
- 2)新留学生3名が入学：理学・劉恵林(中国)、作業・陳トウ紅(中国)、大学院・銭一平(中国)
- 3)総合科目「海外保健福祉事情」・夏期国際研修活動
ベトナム、アメリカ、中国、オーストラリアの4ヶ国で海外研修を行います。新カリキュラムで単位認定科目となったので、5月16日/23日・6月6日/13日/27日の火曜6時限に事前教育を行います。(詳細は学部共通掲示参照)
- 4)JICA ケニア医療技術教育強化プロジェクト・カウンターパート研修員Ms.WAIHENYA(KMTC栄養学部長)が、5月24～26日に本学で研修しました。
- 5)大学の「国際交流・国際協力活動」ホームページを4月20日に更新しました。(田中美子、長谷川豊)

第2回青年海外協力隊帰国隊員報告会の案内

発展途上国におけるプライマリーヘルスケアの実状
中米からの報告・南米からの報告・西アフリカからの報告

平成12年6月20日(火)
18:00～19:30 E101教室(予定)

主催：青年海外協力隊OB会、国際協力事業団関東支部、国際医療福祉大学

後援：栃木県生活環境部国際交流課、
(財)栃木県国際交流協会、大田原国際交流会

学科・センターだより

大学院

第二期生を迎えて

大学院では、この四月に第二期生四十一名を迎えて一段と活気づいています。四十一名中の過半数が学外からの入学者であり、その多くが社会人（一名は中国からの留学生）ということもあって、研究・勉学への意気込みもひととき高いように見受けられます。待望の棟への引越越し（近々実現する見込みです）を期に、懸案であった遠隔授業もいよいよ開始されます。五月三十一日に予定されている一期生の第三回研究報告会には、二期生も参加して先輩たちの発表から多くを学び取ろうと待ちかまえているところです。（笹沼澄子）

看護学科

新入生歓迎会

春の木漏れ日が暖かく感じられるようになった四月二十日、新入生歓迎会が行われました。やや緊張した姿であられた新入生、余裕で迎える上級生。荒井学科長の挨拶の後、なごやかに会は進んでいきました。おにぎりや豚汁はともおいしく、空腹感を癒してくれました。上級生有志による踊りが披露され、あまりの変身ぶりに思わず「星の王子様」の心で見なくてはならないというのを思い出し、外見だけに捕われてはいけないことを思い出しました。そして、チャリダーによる躍動感溢れるダンス。新入生の何人かは、この場で入部を決めた人もいたのではないのでしょうか。

一年生のみならず、このような先輩たちを見習って、これからの四年間、おおいに学生生活を楽しんでください。（近藤蒼子）

理学療法学科

世が五月病などという悠長なことを言っている間に、四年生の多くが臨床実習を半分終えしました。人間相手の仕事の中でも、マニュアル通りには進まないプロフェッショナルの仕事に触れ、患者さんとのコミュニケーションは、その人の人間性が柱となる「技術」だということに初めて気がついて感動する人もいます。これからは知識も必要ですが、「私」を垂れ流さず物事に真摯に取り組む「プロ」の姿勢が求められています。書物では絶対に得られない現場の知識のすばらしさに立ち向かっていきましよう。下級生のみならず、勉強もそうですが、物事を深く洞察できる感性を磨くことも大切です。言い訳めいたひとりよがりの「自分探し」などやめて、先輩や教員との交流から自分の理学療法士への想いを育てていってください。想いのないところに魅力的な物語など存在しないのですから……。（谷 浩明）

作業療法学科

自己管理ができていますか？

新年度に入り二ヶ月が経過しました。生活に慣れるとどこか気が緩んで生活リズムが乱れがちです。皆さん如何でしょうか？

当学科は必修科目が多い学科です。一科目でも単位を落とすと四年間で卒業できない可能性がおおいにあります。皆さん大学生ですから自己責任・自己管理を十分に心がけて行動して下さい。また、期日や指示されたルールを確認し、それを守ることは、社会人としての基本です。権利の裏には必ず最低限守るべきルールや義務があることも忘れないで下さい。（久保田清子）

言語聴覚障害学科

臨床実習が始まる

新年度が始まって二ヶ月が過ぎています。一年生も大学生活にそろそろ慣れてきている頃ではないでしょうか。充実した四年間を過ごして欲しいと思います。

その四年間の集大成とも言える四年生の臨床実習が新学期とともに始まっています。四年生九十九名は学内の言語聴覚センターと学外の実習協力施設で実習を行うことになっており、前期と後期に分かれて各施設で実習を受けます。学生は期待と不安を胸に、北海道から沖縄まで全国に及ぶ学外実習施設に飛び立ちました。多くのことを吸収し成長して戻ってくるのが今から楽しみです。（鳥野幹夫）

放射線・情報科学科

新入生歓迎のウェルカムパーティが四月二十一日（金）午後六時から大学カフェテリアの二階で開催されました。二年の女子学生が中心となって事前準備をし、今回初めてジャズダンスやチャリディングの迫力あるパフォーマンスが加えられてパーティを大いに盛り上げ、楽しい雰囲気を作ってくれました。上級生も多数参加してくれましたので大いに交流が図れ、毎年終盤に行われていたビンゴゲームの頃には、緊張

張気味だった新入生の気持ちも完全に解れたようでした。このウェルカムパーティを通して今年度の放射線・情報科学科の新たなスタートが切れたと実感しました。（野原功全）

医療経営管理学科

国際保健協力フィールド

ワークフェローシップへの参加

本学科四年生の石井稚子さんは、大学の推薦を受けて三月七日～十七日の日程で、日本の他大学の医学生十三名と共に「第六回国際保健協力フィールドワークフェローシップ」に参加しました。彼女のコメントは、IUHW三十一号の七ページに載っておりますのでご覧ください。

毎年開催されるこのフェローシップは、日本のJICAと厚生省が共同で立ち上げた笹川記念保健協力財団がスポンサーとなっており、マニラではWHOの西太平洋地域事務所、厚生省、フィリピン国立大学医学部、そしてJICAのマニラ事務所が協力しています。

このフェローシップの主な目的は、学生に早い段階で発展途上国の保健医療の実態を学ぶ機会を提供し、国際医療福祉協力に対する理解を一層深め、国際的に活躍する人材を養うことにあります。本学でも毎年、東京で開催される国内研修に各学科の学生が参加し、今回の石井さんのようにフィリピンでのフィールドワークに必ず一名が参加しています。私はこのフェローシップの指導専門家として、毎年学生の指導にあたっています。（バルアスマナ）

医療福祉学科

木曜日は国試準備の日

医療福祉学部も完成年度を迎え、本学科も一期生が四年生になりました。社会福祉士の国家試験は合格率三割の超難関。そこで自主講座の国試準備プログラム通称「波状試験」がはじまりました。試験制度開始以来の過去問題から各専門の教員が厳選した試験問題を、木曜日三限に四年生はひたすら解くのです。四限には助手の本多先生と大石先生の社会福祉士コンピによるポイント解説も続きます。専門職への夢をくらませる講演や合格体験者を招いての催しも予定されています。合言葉は「木曜日は国試準備の日」です。頑張れ一期生。（田澤 薫）

語学教育センター

TOEFL開講

皆さんはTOEFLという試験を知っていますか。Test of English in Foreign Lan-

guage（外国語としての英語能力テスト）の頭文字をとった略語で、英語を母国語としない人がアメリカやカナダの大学および大学院で正規の学生として学ぶときに、英語能力の証明として受けねばならないものです。このTOEFL対策クラスがよいよい今年四月から水曜五限に開講しました。TOEFLの勉強は、留学を真剣に考えている人だけでなく、英語力向上の刺激剤としても有益なため四年生や院生も聴講生として積極的に参加しています。後期も開講しますから興味のある人は来て下さいね。（宮崎路子）

基礎医学研究センター

大学院棟と基礎医学研究

大学院の棟屋が完成し二階に基礎研究部門が設置されることになりました。まだ真の実用段階ではないが、最初のステップが踏み出されます。医療・福祉・プロ集団の、将来の指導者の研鑽の場として注目を集める日が間もなく来ます。ヒトゲノム全解読という大事業の結末も2、3年のうちです。遺伝問題を含めて医療福祉分野でもひとことではありませぬ。人類は自ら作り出した「知恵」にどうやってつきあっていくのでしょうか。生命観の変容に熱い思いと冷静さをもつべく、大学院棟の完成の上にダブってきます。（嶋田裕之）

健康管理センター

在宅医療への取り組み

一 デイケアセンター発足
前号でお知らせした訪問看護ステーションに続いてデイケアセンターが五月九日にスタートしました。クリニック一階病室の一部を改装して設備を整え、二名の専属ナースの他に兼任の保健婦、ナース、PT、OT、ST、事務員が勤務しています。現在十二名の通所者についてリハビリサービスを実施しています。この活動が更に軌道に乗るには時間が必要ですが、将来は学生実習にも関係するものと思われまします。今後は介護保険制度との関係もあり重要性が深まるものと思っています。（都築正和）

言語聴覚センター

新年度を迎えて

遅ればせながら新年度の体制についてお知らせいたします。専任ST三名のところ、一名が三月に退職し、四月入職の一名は本学卒業生です。平均年齢も若返って二十代となりました。新人STが早く仕事を覚え、

教員紹介

各学科・センターからご紹介頂きます。

①所属・職位 ②生年 ③出身校 ④専門分野 ⑤直前の勤め先 ⑥主要著書又は論文どちらか一点 ⑦本校における担当科目 ⑧趣味

吉川千絵 (ヨシカワ チエ)



- ①言語聴覚障害学科・技術助手 ②1974年
- ③筑波大学博士課程 心身障害学研究科
- ④中枢聴覚情報処理
- ⑤川口市立医療センターリハビリテーション科
- ⑥Auditory Extinction の機序に関する文献的考察
- ⑧ゴルフ、スキー

中島明彦 (ナカジマ アキヒコ)



- ①医療経営管理学科・教授 ②1946年
- ③名古屋大学大学院 法学研究科 (法学修士)
- ④医療経営・政策論
- ⑤医療法人 名古屋記念財団
- ⑥医療供給政策における政策過程の変容 厚生技官の台頭
- ⑦医療における今日的諸問題、医療経営事務管理論
- ⑧スキー&スノーボード、マラソン

岩本 操 (イワモト ミサオ)



- ①医療福祉学科・講師 ②1964年
- ③立教大学大学院 社会学研究科
- ④医療ソーシャルワーク
- ⑤北里大学東病棟
- ⑥デイ・ケアにおける集団アルバイト実施の援助過程
- ⑦精神保健福祉援助演習 等
- ⑧海を見ること、海にもぐること

深谷淳子 (フカヤ ジュンコ)



- ①言語聴覚センター
- ②1973年
- ③国立身体障害者リハビリテーションセンター学院 聴能言語専門職員養成課程
- ⑤北本市立教育センター

楠本克徳 (クスモト カツノリ)



- ①臨床医学研究センター・助教授
- ②1960年
- ③筑波大学大学院博士課程 医学研究科
- ④司法精神医学
- ⑤医療法人宇都宮 新直井病院
- ⑥司法精神医学と精神鑑定、V-7 酩酊犯罪 (医学書院)
- ⑦精神医学 児童精神医学 等
- ⑧観劇 (オペラ、バレエ、ミュージカル)

情報教育センター報告

新学期がスタートし既に一ヶ月ほど経過しました。インターネット利用に続き、今月から学生のメール利用が開始され、情報インフラの整備は完了したと言つてよいでしょう。これらのネットワーク利用環境が整備されたのを受けて、情報教育センターとしては、今年度から情報処理演習室で、インターネット(電子メール)教育を行うことができます。実際の利用はSL教室で行うことができます。今後は、「学生からレポート、質問などのデータを教員に送信する」、「教員からレポートの採点結果、質問への回答などを学生に送信する」、「掲示板を利用した討論会」、「シラバスの検索・表示」などのネットワーク利用を検討する必要があります。(樺澤一之)

私の研究ノート

語アクセントの文法的機能

語学教育センター 柴田知薫子

紙面では音が出ないので難しいのですが、「ビートたけし」をどう発音しますか。ビートたけし?それともビートたけし?後者の場合、姓(?)と名の境界が消失して氏名が一語と化し、アクセントの山が一つになっています。これは、歴史上の人物など有名人の名前に特有の現象と言われます。

東京方言では、「国際」と「大学」には語アクセントがなく、「医療」と「福祉」にはそれぞれ第一音節と第二音節にアクセントがあります。ところが、この4語が複合して「国際医療福祉大学」になると、「医療」と「福祉」のアクセントが消え、無アクセントだった「大学」の第一音節に複合語全体のアクセントの山ができます。「だいがく」の「だ」に現れるこのアクセントは、「国際」から「大学」までが一語であることを示し、4つの漢語から成るこの長い複合語が「大学」で終わることを音韻的に知らせる働きがあります。

語のアクセントには、このように語境界を画定する機能のほかに、形態を保持する機能があり、英語では語幹と接辞がそれぞれ主強勢と副強勢を持つのが普通です。しかし、*hospitable* のような語では接尾辞 *-able* の副強勢が消失し、主強勢が第一音節から第二音節に移動中です(*hóspitəbəl* > *hospítəbəl*)。このような右方への強勢移動は20世紀特有の音変化で、英語が語末の韻脚(foot)に強勢を置く言語であることを証明しています。

英語や独語の母語話者が「三菱」「大田原」のような日本語の固有名詞を発音する時には、たいてい語末から二番目の音節にアクセントを置くはずで、ゲルマン系の言語は語頭に強勢が置かれると言われますが、それは全くの幻想なのです。

IUHW クイズ - 第19弾 - 当選者発表

クイズにたくさんの応募をいただきありがとうございます。正解者は115名でした。厳選なる抽選の結果、大槻文さん(看護1年)が当選しました。当選者は学生証を持参の上、事務局まで来てください。なお正解は以下の通りです。

解答

問題

札: 那須ハイランドパーク、
那須高原、日光

敦: 那須高原、那須岳

隆: 益子、奥日光、
那須ハイランドパーク

香: 益子、那須高原、
那須岳

望: 那須高原、日光、那須岳

5人の観光客(札、敦、隆、香、望)が栃木の観光に訪れました。5人はそれぞれ、那須高原、那須ハイランドパーク、那須岳、益子、日光、奥日光の6カ所のうち、3カ所を訪れました。(但し、敦だけは2カ所です。)

1. 札と望が訪れているところは2カ所で、札も敦も訪れているところは1カ所、敦も望も訪れているところは2カ所でした。
2. 隆と望が共に訪れているところはなく、札も香も訪れているところは1カ所です。
3. 那須高原に行ったのは4人。那須岳に行ったのは3人、奥日光に行ったのは1人でした。
4. 隆は、日光には行きませんでしたし、香は那須ハイランドパークには行きませんでした。

さて、誰がどこにいったのでしょうか。

「私が感銘を受けた本」(第4、5回)

書名: 医者が末期がん患者になってわかったこと

著者: 岩田隆信、出版社: 中経出版

紹介者: 放射線・情報科学科3年 鈴木伸忠



医療従事者にとって、何十、何百人もの患者と接しているとある意味なれっこになってしまう。患者さんにとってはその病気と戦うということは、計り知れない不安感と戦うことである。しかし、医療者は一人一人違う不安を抱えている患者さんたちと接しなくてはならない。そのために、患者さんの気持ちをくんで接しなくてはならない。実際に自分も患者の立場に立ったとき、今まで思いもよらない不安感に襲われた。このとき、自分の立場になって考えるだけではなく、それにも増して患者さんの立場になって接しなくてはならないことに気付いた。病気と戦うということは、今までに体験したことのない深い心の傷を負っているのだから。

書名: 昭和史Ⅰ、Ⅱ

著者: 中村隆英、出版社: 東洋経済新報社

紹介者: 医療経営管理学科 矢野 聡



司馬遼太郎等の歴史文学の題材で、とくに悲運のまま潰れていったものに愛着を感じる。彼らへの共感から志を持つこと、郷土や人間に惜しみなく愛情を注ぐことの大切さが伝わるからである。

社会科学書だが「昭和史Ⅰ、Ⅱ」はこれに似ている。Ⅰでは戦争へ突入してゆくさまを、Ⅱでは復興から昭和天皇崩御までを経済、政治、社会的側面で述べているが、経済史では牙えを見せる。クールに事実を積み重ねながら、同時代を生きた人間や社会への共感が静かに伝わり、胸を打つ。昭和への一つの回答である。

図書館の大谷学長著書の右側の書棚に置きます。

ご愛読下さい。(図書館長)

お詫びと訂正

前回31号の「卒業生の声」におきまして、看護学科 中澤真弓さんの名前が抜けておりました。お詫びして訂正いたします。

編集後記

運動会は優勝が放射線・情報科学科、準優勝が理学療法学科でした。

応援団の愛くるしいパラパラダンスは、全学科を巻き込んだのダンスイベントになり、たいへん盛り上がりしました。2年生の卒業生達も夜勤明けや休みを使って応援に来てくださり、楽しいひとときを一緒に過ごすことができました。

IUHWも平成11年度からメディア部の協力により、表紙のカラーページ化、頁の刷新・内容の充実に取り組みでまいりました。この号でも引き続き努力して、5月のさわやかな風を読者の皆様方に伝えることができたかな、と自負しております。次号では、働く卒業生(1・2年生)の声なども紹介していきたいと考えております。(藤原聡子)

ナースステーションから

家庭で行う看護法 その1 (発熱・下痢時の対応)

水不足になる原因は様々ですが、通常は高い熱・吐く・下痢が主な症状です。夏では、日射病も原因のひとつです。

この状態になると

1) 元気がなくなり、重くなるとぐったりする。

2) 尿の回数が減り、ひどい場合は出なくなる。

更に、ひどい脱水になると、血液の循環が悪くなり、

脳や肝腎など大切な臓器に、影響を及ぼし重大な結果になることがあります。この様な状態にならないようにするには、早めに上手に水分をとることが大切です。短い間ならば水分を与えるだけで十分です。病状が治ったら栄養の事を考えて下さい。

*ではどのようにして水分を与えたら良いのでしょうか?

まず、カップに紅茶を少し濃いめに作ります。これを湯ざましで1,000mlまで薄めます。高熱で食欲がないときは、これに60~80gの砂糖と、一つまみのあら塩(漬け物の塩)を入れ、口あたりが良いように冷やし、1回分100ml位~200mlを尿の出方をみながら1日(1,000ml~2,000ml)飲みます。下痢や吐いているときは、水分と同様に塩分が失われますから、塩を二つまみに増やし砂糖を50gに減らします。紅茶は、強心・利尿作用が穏やかに働きますので血液の循環を良くし、早く水分を体のすみずみへ送り回復を早めます。砂糖は肝臓にエネルギーを与えますが、下痢のときは控え目にし、温度もあまり冷たくしない方が良いでしょう。早速あなたもご家庭で試してみませんか。(平野澄子)

リレーエッセイ

薫風を運んでくれたうれしい便り

放射線・情報科学科 新井 正一

4月25日、3月に卒業したA君よりmailが届きました。「国家試験も無事合格でき、先週金曜日に免許申請をしました。毎日忙しく働いています。職場は皆さんいい人ばかりで、楽しくまた厳しく学んでいます。」

彼は苦学生でした。高1の時、父親が病気で亡くなり母親に育てられました。大学時代は週3日コンビニで深夜から朝まで働いていました。その合間にレポートや勉強に励んでいたのです。かなりつらかったと思いますが彼の口から一言も弱音を聞いたことはありませんでした。秋、就職先は決まったものの成績が思うようにのびず彼も悩んでいました。私も叱咤激励し続けました。そして1月、卒業試験は驚くほどのいい成績になっていました。3月国家試験、4月合格発表。私も自分のことのように感動しました。

そして4月25日。彼は私に真っ先に連絡をくれたのです。「初給料がいただきました。」

早速私も「mailありがとう。初給料でお母さんに何か買ってあげましたか?お父さんに報告しましたか?今の気持ちを忘れず立派な医療従事者になってください。」

薫風を運んでくれたうれしい便りでした。

次回執筆者: 松永達夫先生(言語聴覚障害学科)

IUHW クイズ - 第20弾 - 賞品はなんと旅行ギフト券(8000円分)!

ご好評の英語クイズ再登場です。今回のテーマはcolorsです。正解を記入して事務局窓口外側のメールボックスへ投入してください。正解者多数の場合は、抽選で1名の方に旅行ギフト券をプレゼント。応募資格は本学の学生で、1人1通、締め切りは7月3日(月)です。難しそうに見えますがそれぞれの色を辞書で引けばすぐ見つかりますよ。

- A: How's your company doing?
B: It was making money last year. But now it's in the ().
- A: You have a very nice car, Mike.
B: No, it consumes a lot of gas and a () elephant that I can't sell.
- A: What is she like?
B: Well, she gives the impression of being tough, but she has a heart of ().
- A: How often do you see your grandchild?
B: Well, he visits us once in a () moon.
- A: Hi, Janet, how are you doing?
B: I feel in the () after a long period of rest.

blue, pink, green, red,
black, gold, white,

解答用紙 学科 学年
名前

解答 1:
2:
3:
4:
5:

